

○1番（佐怒賀康輔君） 皆さん、こんにちは。傍聴の皆様方におかれましては、お越しいただきありがとうございます。議席1番、佐怒賀康輔でございます。議長より質問の許可を得ましたので、通告に基づき質問をさせていただきます。

橋本町長におかれましては、柔軟な政策とスピード感のある決断、日々ご尽力をいただき、ここに衷心なる敬意を表します。

それではまず、質問第1項目めに入らせていただきます。英語検定の受検料値上げについて質問です。当町では魅力あるまちづくりの一環として、平成30年度からスーパーグローバルスクール事業を開始し、英語教育に重点を置き、英語を話せる子供たちを育成するため、様々な取組をしていただいております。

姉妹都市のフィリピン・マリキナ市からは複数のALTの先生に来ていただき、日常的に英語に触れる機会を創出しております。同じく姉妹都市のハワイ州ホノルル市とも連携を行い、小中学校同士の姉妹校締結、それによる両校生徒の交流、交換留学など、小中学校9年間を通して実用的な英語力を身につけ、グローバル社会で活躍できる人材の育成を目指していることと存じております。そして、その一環として、英語力チャレンジアップ事業、これが実用英語技能検定、いわゆる英検の受検料を全額補助するという政策です。

この政策のおかげで、境町の小中学生の多くが英検を受検しています。私の周りでも、英検4級とか3級を持っているのという小中学生の子供たちが当然のようにおまして、中学校に入って初めて英検というのを知って、何とか英検5級をヒーヒー言いながら受検した当時の私からすると、本当に英語教育が実を結んでいるのだなと強く実感する次第であります。

前置きが長くなりましたが、ここで今回の質問、英語検定の受検料値上げについてであります。先日、英検を運営する公益財団法人日本英語検定協会が、来年度、令和6年度の英検の検定料を値上げすると発表しました。外部委託先や仕入れ先での人件費だったり、用紙費、印刷費、物流費等々の上昇などに伴う値上げだということです。値上げ幅としましては、受検者が多い従来型、200円から700円値上げするとのこと。これに際しまして、全小中学校を対象に英検の受検料を負担している当町としては、この値上げに対してどのように対応していく予定なのか、現時点でのお考えについてお聞かせいただきたいです。

続きまして、質問第2項目めに入らせていただきます。空き家対策と移住についてです。まず、1点目に、当町の空き家対策について質問です。日本国内における空き家問題、長年にわたり問題視されております。空き家が増えることで、それに絡んだ犯罪の増加や老朽化で倒壊するなどといったケースもあり、ごみの不法投棄、庭が荒れているなど、衛生面、景観の悪化を招いている事例も様々挙げられます。

当町境町モデルを筆頭に、空いている土地の有効活用ですとか、移住者の呼び込みに特化したPFI住宅事業など、空き家とは少々ニュアンスが異なるのですが、不動産的な政策において非常にセン

スのある自治体だと私は思っております。ですので、重ねて、以前も質問させていただきましたが、改めて空き家問題について、当町の現在の状況と今後の取組についてお伺いできればと思います。

2点目に、移住者の方に対するフォローアップについて質問です。町長の行政報告にもありましたが、本年4月から11月までの境町の人口、社会増減数は36名の増加、また移住促進住宅のアイレットハウス、オハナタウンにつきましては、第35回住生活月間における功労者表彰において、国土交通大臣表彰を受賞するなど、大きな課題とされている人口減少に対して非常に有効な移住政策を実施されていると実感しています。実際に私の周りにも、移住してきたご家族や同年代の友人など何人もおり、境町の生活は快適で、引っ越してきてよかったと非常に好意的な意見を多くいただいております。

その一方で、「病院って、どこがいいの」ですとか、買物するならどこのスーパーがいいのだろうとか、あと「子供を遊ばせる公園って、ちっちゃいところだとどこにあるんですか」というような生活における必須情報のようなことについてよく質問をいただきます。先日も、境町での生活における手引のような、何か冊子のようなものがあると非常に便利なのではないかと、そんなご意見をいただいた次第でございます。

そこで、実際に移住後の方に対する要望の調査ですとか、フォローアップについて、現在当町ではどのような対応を実施しているのかお伺いさせていただければと思います。

以上、2項目3点を質問させていただきましたが、執行部の誠意あるご回答をよろしくお願い申し上げます、第1回目の私の質問とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○議長（倉持 功君） 最初に、英語検定の受検料値上げについての質問に対する答弁を求めます。
教育次長。

〔教育次長 栗原恵子君登壇〕

○教育次長（栗原恵子君） 佐怒賀議員の1項目め、英語検定の受検料値上げについての英検の受検料が2024年度から値上がりすると発表されたが、当町が実施する英検受験無料についてどうなる予定かを伺いたいとのご質問にお答えいたします。

これまでの取組についてですが、当町が実施する実用英語技能検定の受検料補助につきましては、平成30年度に事業化され、町内の小中学校に在籍する児童生徒を対象に、年1回まで受検料の全額を補助させていただいており、これまでに多くの児童生徒が無料で英語検定を受検しております。

このいわゆる英検でございますが、受検会場の種別によって料金体系が異なり、英検協会が大学等を借り上げて会場を用意する本会場方式と受検団体が自身で会場を用意する準会場方式がございます。当町におきましては、準会場方式を採用しており、本会場方式に比べて安価に受検できるだけでなく、児童生徒が通いなれた自身の学校において英語を受検することができております。

今後の取組についてでございますが、今回の受検料の見直しにより、準会場方式の受検料は、2級が6,900円、準2級が6,100円、3級5,000円、4級2,900円、5級2,500円となる見込みでございます。値上がり幅につきましては、2級500円、準2級400円、3級300円となり、4級と5級につきましては

据置きとなります。この値上がりにより、事業費は9万円増額となる見込みでございますが、英検受験に関しましては、子供たちが身につけた英語力を試すことのできる重要な成果の場となっておりますから、引き続き子供たちが英検を無料で受検できるように取り組んでまいりますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

佐怒賀康輔君。

○1番（佐怒賀康輔君） ご答弁ありがとうございました。これは質問ではないのですが、境町ならきっと無料でやってくれるのではないかと感じておりましたので、非常にありがたいことだなと思っております。

僕の時代は、中学校に入ってから担任の先生が、英検というものがあるのだけれども、やりたいやつはやってくれぐらいの感覚だったので、英検というもの自体の存在をあまり小学校のときから認識していなかったのではないかなというふうに覚えておりますが、今境町は小中学校全員無料なので、ぜひやってくれというふうに推奨しておりますので、そういった受検の機会、勉強の、学習の機会というのを広く進めていただいておりますので、引き続きこちらの英語教育につきましてよろしくお願いいたします。

○議長（倉持 功君） これで英語検定の受検料値上げについての質問を終わります。

次に、空き家対策と移住についての質問に対する答弁を求めます。

企画部長。

〔企画部長 佐野直也君登壇〕

○企画部長（佐野直也君） それでは、佐怒賀議員の2項目め、空き家対策と移住についての1点目、全国規模で問題となっている空き家増加問題について、当町の現在の状況と今後の取組について伺いたいとのご質問にお答えをさせていただきます。

まず、空き家の計画策定状況でございますが、昨年令和4年の第1回定例会におきまして、佐怒賀議員から空き家対策についてのご質問をいただいたところでございますが、前回の調査から7年が経過しているということが判明いたしました。前回のご質問を受け、今年度新たな空き家実態調査及び空き家等対策計画の策定業務を発注したところでございまして、入札は先月11月27日に執行させていただきましたので、来年3月末には詳細な結果が出てくる予定でございます。調査結果が出次第、議会の皆様にもご報告をさせていただきたいと思っております。

次に、2点目、境町への移住者は増加しているが、移住後の要望調査や支援について伺いたいとのご質問にお答えをいたします。これまでの取組についてということで、町ではアイレットハウスや定住促進戸建て住宅に入居されている移住者、世帯に対して、移住を決めた理由や魅力に感じている支援制度、また移住後の要望等の調査のアンケートを実施しております。

こちらのアンケート結果につきましても、今後議会の全員協議会などで議員の皆様にお知らせした

いと考えておりますが、結果としまして、移住してよかった点につきましては、子育て支援が手厚く、とても住みやすい。自治体の頑張りが見える。スポーツや留学に力を入れており、子育てによい。にここパークが近くにあるのは大変ありがたいなどの声がありました。

また、一方、改善要望したい点につきましては、東京駅行き的高速バスの本数をもっとあるとよい。自動運転バスを夜の10時頃まで運行してもらいたい。子供用品、子供服を扱う店があるとよいなどの声がありました。

アンケート結果で、全体として、境町に住み続けたい人は88.9%の人から回答があったところがございます。近年は、テレワークの普及により、東京圏や遠方からの移住者も多いことから、移住後の暮らしや子育てのサポート、コミュニティーの形成がスムーズにできるよう、境町子育てシェアタウン推進事業として、子育て世帯や移住者がつながり、交流することができる専用アプリ、マイコミュの利用も今年の10月25日より開始したところがございます。

現在入居募集しておりますアイレットハウス、マハロタウンにつきましては、昨日のご報告で95件というふうにご報告させていただきましたが、最新の申込み状況としましては、募集戸数の22棟を大幅に上回る108件、だから昨日から13件ほど増えているという状況でございますが、そのような申込みがあります。今後も移住者の増加が見込まれておりますので、引き続き進めてまいりたいと思っております。

また、昨年度完成しましたアイレットハウス、オハナタウンには、数々のBMXフリースタイル・パークの大会で優勝ですとか、上位の成績を収めている、東京都出身の白井選手ご家族が境町に移住するなど、境町アーバンスポーツパークを練習拠点としたスポーツ移住も加速しているところでございます。

今後も様々な支援を実施することにより、移住から定住につなげることができるよう、検討実施してまいりたいと考えておりますので、ご理解のほどよろしくお願いを申し上げます。

○議長（倉持 功君） それでは、補足で橋本正裕君。

○町長（橋本正裕君） それでは、佐怒賀議員さんのご質問に補足をさせていただきます。

移住してきた後のガイドブックなんかがあったらいいのではないかというご質問だったと思うのです。ですので、その部分については、ぜひ検討していきたいというふうに思います。逆にいいガイドブックがある自治体があれば、教えていただければ、それをまねして作るのが一番早くできてしまいますので、こちらで考えるのは考えますけれども、ぜひ何かいいところの自治体の移住ガイドブック、例えば引っ越してきて最初にやることとか、そういうことですね。図書館だったらこととか、そういうガイドブックがやはりあると便利ではないかなというふうに実際に思いますので、ぜひ検討してまいりたいというふうに思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

佐怒賀康輔君。

○1番（佐怒賀康輔君） 丁寧なご答弁ありがとうございました。空き家対策も先ほど、僕は令和4年度質問させていただいて、改めてしっかりと実施をしていただいているという部分と、移住者のガイドブックにつきましても、町長のほうから前向きなご検討をいただけるということだったので、ぜひよろしく願いいたします。

1点だけご質問なのですが、空き家の実情調査を3月末までに完了した後の動きとしては、やはり空き家バンクみたいな形を取って、空き家と希望者のマッチングみたいなものをしていくというふうな形で、こういったところは何か委員会等を設置して進めていくという形になるのでしょうか。

○議長（倉持 功君） ただいまの質問に対する答弁を求めます。

町長、橋本正裕君。

○町長（橋本正裕君） それでは、佐怒賀議員さんのご質問にお答えします。

一般的にはそういう流れになると思うのですがけれども、境町の場合は、空き家といっても管理空き家、要は貸すも売りもしませんというところも結構多いものですから、まずは空き家のその状況が分かった際には、空き家を町に寄附しませんかと。無料でと言いつらいですけれども、無料で境町にくれませんかというようなことをまずやってみて、そんな中から、実際に、いや、無料は無理けれども、貸すならいいよとか、売るならいいよとか、そういうところが分かってくると、ああ、あそこはじゃもう活用できるなとか、いろいろなことが分かってくると思いますので、まずはバンクをつくる前に、持っている方にどのような意向かということも併せて研究をしていきたいというふうに思っています。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

佐怒賀康輔君。

○1番（佐怒賀康輔君） ご答弁ありがとうございます。先ほども申し上げたとおり、境町、不動産においては、かなりセンスの高い自治体だというふうに思っておりますので。今の干し芋カフェの場所だったりとかも、町民の方からの寄附等々で、あの場所を使わせていただいているというふうにお伺いしておりますので、また今年度中にこちらの調査が終わり次第、来年度以降ぜひそちらの政策のほうも進めていただければと思います。ありがとうございました。

○議長（倉持 功君） これで佐怒賀康輔君の一般質問を終わります。